



はぐくみ基金について



最近、企業の福利厚生の一環として、福祉はぐくみ企業年金基金という

「社員が将来の自身の退職金のために、自身で積み立てる企業年金制度」の問い合わせが増えております。

そのため、今回は、話題の「はぐくみ基金」について詳しくご紹介します。

はぐくみ基金の特徴

URL : <https://bpcom.jp/hagukumikikin/feature/hagukumikikin/2244/>

I. 従業員のメリット

- 給与の社会保険料や税金(源泉所得税、住民税)の負担を軽減できます。

※退職所得は社会保険料の負担がなく、現状、税金の優遇も大きいです。

- 元本保証で老後の資産形成が可能になります。

II. 従業員のデメリット

- 社会保険料の等級が下がり、社会保障給付(公的保険給付)少なくなる可能性があります。

III. 会社のメリット

- 従業員の労使折半分の社会保険料の負担を軽減できます。
- 福利厚生の充実により、従業員の定着が期待できます。

IV. 会社のデメリット

- 導入費用やランニングコストがかかります。

<料金表(税抜き表示)>

契約締結時	・初期導入費用 ※厚生年金被保険者数に応じ、次の通りです ・2～30名：300,000円、・31～100名：500,000円、・・・
制度導入後 (加入者登録時)	・口座開設手数料 開設時1,000円/加入者数
制度導入後 (毎月)	・基本料金 月額5,000円×厚生年金適用事業者数 ・継続サポート料 ・1～3年目：月額500円×(厚生年金被保険者数-10名) ・4年目～：月額500円×(加入者数-10名)

他の企業年金制度との主な違い



- ① 従業員の加入は任意となります。そして、役員の方も拠出することは可能です。
- ② 拠出上限が他の企業年金制度よりも高い金額であります。
(拠出可能金額：1,000円～基本給/役員報酬の20% ※上限は40万円です。)
- ③ 受取の時期が退職時又は休職時、育休時と選択が可能となります。

注意

役員の方が拠出する場合には、定期同額給与の関係で以下の内容を議事録に残す必要があります。

1. 定期同額給与の金額
2. 確定給付企業年金掛金(はぐくみ基金)の金額

そのため、拠出金額の変更のタイミングも役員報酬と同様に年に1回となります。

導入検討の際には

はぐくみ基金の新規導入及び加入のご相談については、
加入促進事務業務の委託運営及び導入サポートを行っている株式会社ベター・プレイスにて対応しております。

そのため、はぐくみ基金の導入検討の際には、
株式会社ベター・プレイスの専門スタッフがオンラインセミナーや個別オンライン面談を行っておりますので、
はぐくみ基金の導入及び加入要件を満たしているのかをご確認のうえ、お申込みください。

